

# 自治体におけるFM戦略 札幌会場

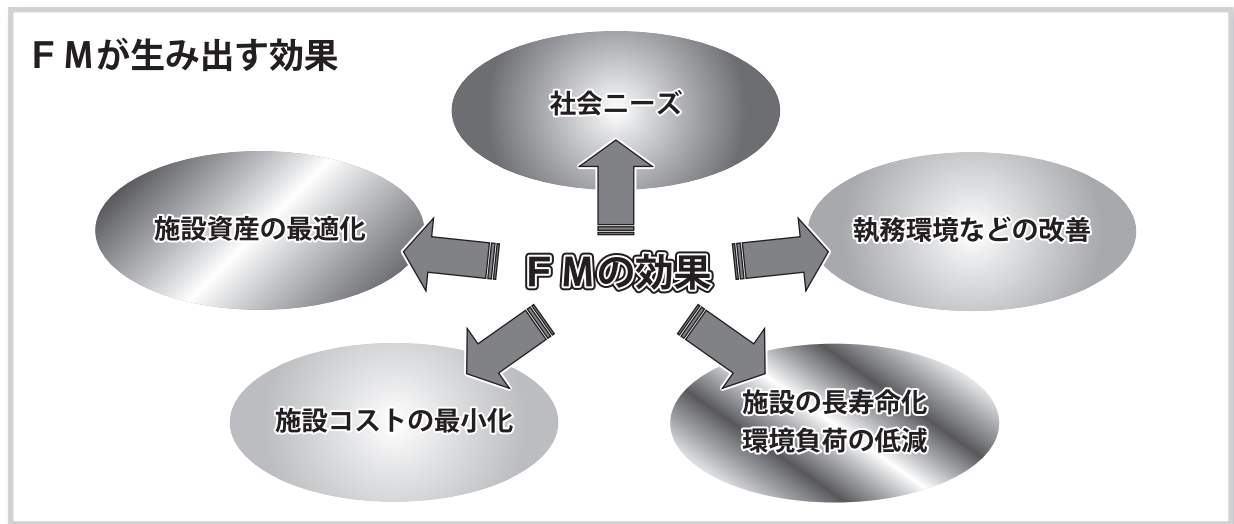
## FM戦略と保全データベース ー公共建築を有効に活用するためにー

講演会の主旨：

(財)建築保全センター

- 厳しい財政状況の下、公共建築物の有効活用が、行政の効率化等にどのように結びつくか
- 公共建築物を有効活用するためのFM（ファシリティマネジメント）戦略の意義と効果は何か
- 国土交通省は官庁施設のFMにどのように取り組もうとしているのか、自治体でのFMの取り組みは
- FMと保全データベースの関連は何か。また国と自治体が連携して開発した総合的な保全データベースシステム（BIMMS）、開発のねらい

等について、最新情報の提供により、公共建築への新しい取組についてご理解頂くことを目的に開催します。



■ 日 時 平成19年9月19日（水）13時30分から16時30分

■ 会 場 北海道第二水産ビル（最寄駅JR線・地下鉄南北線札幌駅又は大通駅）

■ 定 員 120名（参加費無料・要申込み）裏面申込書をご利用下さい。

■ プログラム

基調講演 「建築保全とFMの連携ー公共施設資産改革のために」	中津エフ・エム・コンサルティング代表取締役	中津 元次 氏
講演 1 「社会資本整備審議会建議から」	国土交通省北海道開発局営繕部営繕計画課長	尾崎 俊文 氏
講演 2 「BIMMSの構築とその活用」	(財)建築保全センター 保全情報センター長	丹羽 範夫 氏
講演 3 自治体におけるFMの取り組み	北海道総務部総務課 参事	富田 克己 氏

主催：財団法人 建築保全センター、社団法人 日本ファシリティマネジメント推進協会

後援：国土交通省、全国知事会、全国市長会、全国町村会

協賛：(社)公共建築協会、(財)建築コスト管理システム研究所、(社)日本建築士会連合会、  
(社)日本設備設計事務所協会、(社)北海道ファシリティマネジメント協会

# F M戦略と保全データベース

— 公共建築を有効に活用するために —

講演会の概要：

(財) 建築保全センター

“公共建築の利用価値を高めるにはどのようにしたら良いのか？”これは厳しい財政事情にある国、地方自治体が抱えている大きな課題です。今回のテーマとして取り上げました「FM（ファシリティマネジメント）戦略と保全データベース」は、この課題に対する適切な解決策となるはずです。

先進企業においては、経営の中で施設をいかに有効に活用するかの重要性が理解されてきていますが、国土交通省でも、社会資本整備審議会建築分科会建議「国家機関の建築物を良質なストックとして整備・活用するための官庁営繕行政のあり方について」（平成18年7月公表）等において、FM手法が官庁施設の有効活用に重要であると初めて指摘しています。これは地方自治体施設についてもあてはまります。

さらに、FMを行うためには、その基礎となる施設の状況を的確に把握できるデータベースが不可欠です。この点に関しては、すでに国と地方自治体が連携して建築物の保全を総合的に支援するデータベースシステム（BIMMS）を開発しており、平成17年度からはその本格的な運用が行われています。

本講演会では、組織運営におけるFMの意義と効果、官庁施設に関するFM戦略、BIMMSとFMとの関係、BIMMSの開発のねらいとFMの関係、自治体でのFMの取り組みについて、第一線でご活躍されている講師の方々に、最新の情報をお話いただくものです。是非、この機会に自治体をはじめ多くの建築関係技術者、施設の企画・管理に携わる方々にご参加いただき、公共施設の効率的、効果的な運用等の参考となることを期待しております。

◆ 申込み方法： 申込書にご記入の上FAXにて送付してください。

◆ 締め切り： 定員になり次第、締切らせて頂きます。

◆ 送付先： 財団法人 建築保全センター

FAX 03-3263-0093

◆ 問合せ先： 財団法人 建築保全センター 試験研修部

TEL 03-3263-0080

## 講演会参加申込書

送付先 FAX: 03 - 3263 - 0093

氏名 (代表者)			
勤務先・ 役職(所属)			
住所	〒		
TEL		FAX	
(代表者以外の参加者氏名欄)			



\*申し込み関係データは、個人情報の保護に関する法律に基づき適正に管理致します。